

# 「明日の京都」ビジョンの検討

— 長期ビジョン・中期計画の策定にあたって —

1. 長期ビジョン・中期計画の構成について
2. 長期ビジョンについて
3. 中期計画について



## (資料1) 「明日の京都」の検討

- ◇現在の「新京都府総合計画(新府総)」が平成22年末で計画期間を終えることから、「ポスト新府総」として、新しいビジョンづくりを進めています。
- ◇グローバルな変化の激しい時代にも、めざすゴールを見据えつつ、柔軟かつ機動的に様々な課題に対応できるよう、以下の4つの体系でつくっていくこととしています。

# 「基本条例」

◇「どのような考え方で、何を大切にしながら京都府行政を進めていくのか」というような、時代や社会情勢の変化に関わらず、府政運営に当たって常に基本に置く考え方やあるべき行政運営や地域づくりの理念を中心に掲げて、それを実行するための基本的な方向性(羅針盤)を条例としてとりまとめ、府民全体で共有していただけるよう進めていきます。

# 「長期ビジョン」

◇これからの京都府はどのような価値観、文化観をもって進んでいくのかを明確にしつつ、10年ないし20年後を見据えて、京都府社会のめざす姿、将来の京都府はこんな風になっていたいという社会像を描いていこうとするものです。

具体的にはこの2つの計画で「明日の京都」づくりを進めます。

## 「中期計画」

◇長期ビジョンのめざすゴールに着実に向かっていくための行政の基本政策とともに、向こう4～5か年間に実施する重点施策・事業をまとめます。

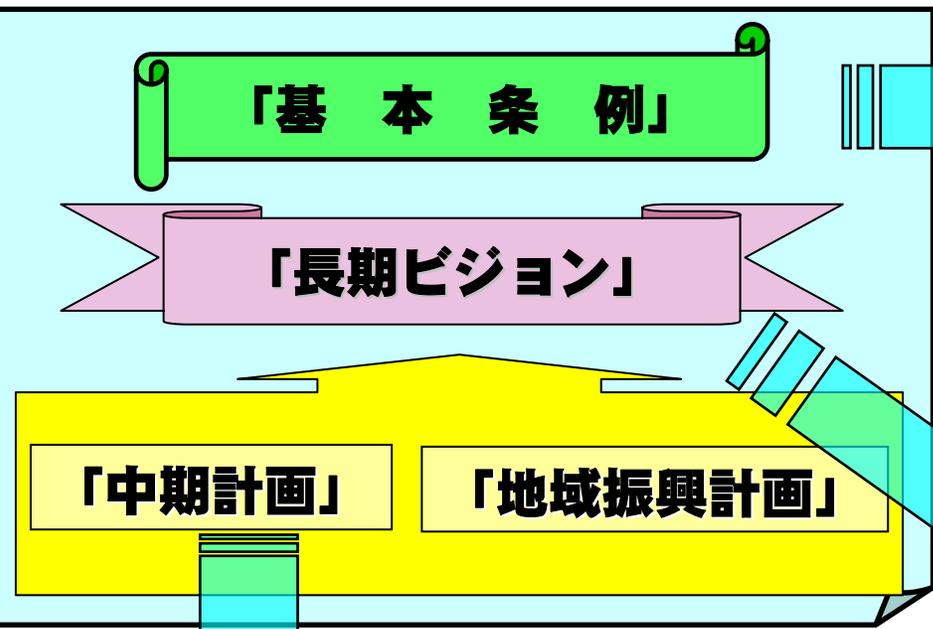
## 「地域振興計画」

◇「山城」・「南丹」・「中丹」・「丹後」の4つの広域振興局ごとに、それぞれの地域資源を活かしながら、その特長に応じた振興策や課題に対応していくための方策を、地域の皆さんの意見等をふまえて策定します。

# 1. 長期ビジョン・中期計画の構成について



# (論点)長期ビジョン・中期計画の構成



(参考)行政運営の基本理念・原則となる条例(仮称)〈検討報告書案より〉

- 前文
- 目的  
〈行政運営の羅針盤としての位置づけ〉
- 基本理念  
〈根幹となる3つの考え方〉
- 基本原則  
〈基本理念を踏まえた5つの行動原則〉

他

(論点)項目・組み立て案

- 京都府の使命  
→ めざす社会に向かうために京都府が成すべきこと
- 成果目標  
→ 4~5年後に「府民の生活に関わる何がどのように改善されるか」といった目標
- 具体方策  
→ 成果目標達成のため4~5年間に京都府が取り組む主な方策

(論点)項目・組み立て案

- 前文  
→ 府民へのメッセージ
- ビジョン  
→ めざす社会の概念
- めざす社会  
→ 3つのめざす社会と具体像

## 2. 長期ビジョンについて

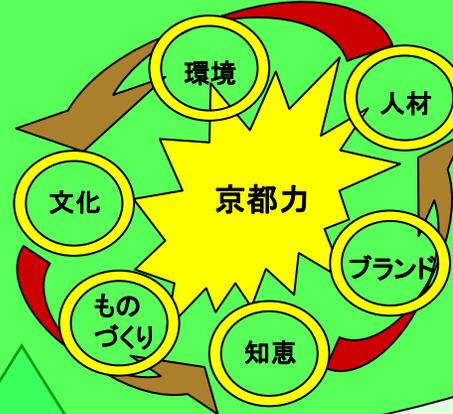


# (論点)「めざす社会」について

## 【ビジョン】

**【めざす社会③】**  
京都の持つ強みと知恵を生かして、一人ひとりが持てる力を存分に発揮し、のびのびと活動できる元気のある社会

【人の力を引き出す6つの京都力】



人が力を発揮できる社会を創造

**【めざす社会①】**  
府民の誰もが不安なく、生き生きと暮らしていける安心の社会

【安心社会の6つの柱】

- ①子育て子育て ②学び
- ③働き ④医療・福祉
- ⑤長寿 ⑥暮らし

↑  
安心感・信頼感に包まれた社会のもとで

**【めざす社会②】**  
府民みんなが地域の中で互いにつながり、支え合う社会

【支え合いをつくる6つの社会】

- ①ユニバーサル社会
- ②新たなコミュニティ社会
- ③地域力協創社会
- ④男女協働社会
- ⑤交流連帯社会
- ⑥ふるさと定住社会

# (資料2-1)これまでの意見・提案等とめざす社会<①>

## 【懇話会での主な意見】

- ・生活習慣の改善      ・小学校・幼稚園・保育園と老人ホームの併設
- ・人は何かで必要とされたい      ・職業に対する価値観の多様化
- ・住育のすすめ      ・働きを通じた心づくり
- ・学ぶことの楽しさの実感できる教育      ・健やかに人生の終焉を迎えられる社会
- ・京都で子育てしてよかったと思える社会づくり
- ・生涯にわたって学びやすい社会づくり

## 【専門部会からの主な提案】

- ・ワークライフバランスの実現を図るため、就業環境の整備や働き続け易い環境づくりなどをオール京都体制で推進(産業・労働)
- ・あらゆる社会の取り組みに子供の目線を入れること(福祉・医療)
- ・医療や介護を必要とする人が十分なサービスを受けられるようにすること(福祉・医療)
- ・高齢者や障害者、子育て中の親の生きがいづくりを応援するとともに、孤独感を減少すること(福祉・医療)
- ・府民の健康寿命を延ばすこと(福祉・医療)
- ・地域ぐるみの子供の教育を進めること(教育・学習)
- ・地震や風水害に対する地域防災力を充実させること(安全・基盤)
- ・府民の安心安全な生活環境を守ること(安全・基盤)

## 【めざす社会】

### <その①>

府民の誰もが不安なく、  
生き生きと暮らしていける  
安心の社会

# (資料2-2)これまでの意見・提案等とめざす社会<②>

## 【懇話会での主な意見】

- ・地域社会の繋がりの再構築      ・世代間に学ぶ、地域学習
- ・交通、情報等インフラの整備      ・働くことへの正当な評価のしくみづくり
- ・育児休業後の再雇用等の企業文化の育成      ・外国人が生活しやすい地域づくり
- ・祭りの復活      ・つながることで生きがいを持つ
- ・どのような形であれ人とつながりをもった社会      ・喜びの生まれるコミュニティ
- ・もののバリアフリーより心のバリアフリー      ・「縁」
- ・つながりのきっかけが見つけられる社会      ・子育てにシニアパワーを活用する

## 【専門部会からの主な提案】

- ・農山漁村地域を守り支えるための府民運動を展開すること(文化・環境)
- ・地域の活力の基礎となる人材の育成と交流のシステムを創造すること(産業・労働)
- ・新たな課題にも対応した人権教育、啓発を推進すること(教育・学習)
- ・青少年に「他者への信頼感」や  
「自他の生命を尊重する心」を身につけさせること(教育・学習)
- ・性別に関係なくその個性と能力を十分に発揮できる社会を実現すること(安全・基盤)
- ・住民の主体的な活動を活発化し、パートナーシップ型社会を形成すること(安全・基盤)
- ・地域住民自らが防犯、消防活動、  
交通安全などに取り組む社会を実現すること(安全・基盤)

## 【めざす社会】

<その②>

府民みんなが  
地域の中で互  
いにつながり、  
支え合う社会

# (資料2-3)これまでの意見・提案等とめざす社会<③>

## 【懇話会での主な意見】

- ・エネルギーに頼らないまちづくり
- ・低炭素社会
- ・したいこと、求めることが実現できる社会
- ・伝統産業・伝統文化の保存継承
- ・「京都府民の日」の制定
- ・家庭教育の中から地域を自慢
- ・京都出身が人格の指標となれる京都
- ・心の教育
- ・大学の社会的信用の再生
- ・高齢者が伝統産業を学ぶ
- ・自発組織は機能する

## 【専門部会からの主な提案】

- ・京都の知恵と文化の集積を再評価すること(文化・環境)
- ・京都文化に受け継がれている自然と共生し、  
精神性豊かな価値観を国内外に発信すること(文化・環境)
- ・技術、意匠、古典等の知的・文化的遺産を生かした製品やブランドを創造し続けること  
(文化・環境)
- ・京都の総合力を生かして、ライフスタイルの変化に対応し、  
生活革命を進めることで新たな市場を創造(産業・労働)
- ・多様で豊かな地域資源を総合的に活用し、  
地域の特性を生かした「オンリーワン」モデルづくりを推進(産業労働)
- ・京都の大学等の知的財産や留学生などを活用して、子供たちの国際感覚を培い、  
世界を視野に行動する力を育成すること(教育・学習)

## 【めざす社会】

### <その③>

京都の持つ  
強みと知恵を  
生かして、  
一人ひとりが  
持てる力を存  
分に発揮し、  
のびのびと活  
動できる元気  
のある社会

# (資料 2-4)府民交流会のアンケート結果

## ☆アンケート項目『どんな社会をめざすか？(求める社会像)』

	丹後地域		中丹地域		南丹地域	
第1位	地域コミュニティのある社会	28.6%	働く場がたくさんある社会	17.0%	地域コミュニティのある社会	26.8%
第2位	教育の先進地である社会	19.0%	お年寄りや子供が安心して暮らせる社会	14.9%	自然環境に恵まれ都市化とバランスのとれたまち	17.9%
第3位	働く場がたくさんある社会	14.3%	地域コミュニティのある社会	14.9%	安心・安全な社会	17.9%
第4位	お年寄りや子供が安心して暮らせる社会	14.3%	3市の一体感がある社会	10.6%	生活の利便性の高い社会	10.7%
第5位	住んでよし訪れてよしの社会	9.5%	自然環境に恵まれた社会	10.6%	働く場の豊富な街	7.1%
その他	自然環境保全、自給自足の町、お金以外の豊かさを感じる街	14.3%	人の定着、医療・福祉の充実、地元製品の活用	31.9%	活力ある街、若者が夢を持てる街、災害に強い、健康長寿、人材の育成	19.6%

	山城地域		京都市内	
第1位	自然環境に恵まれ都市化とバランスのとれたまち	29.4%	歴史、伝統、文化を守り伝える社会	18.9%
第2位	安心・安全な街づくり	20.6%	地域とのつながり、コミュニティのある社会	11.9%
第3位	地域コミュニティのある社会	11.8%	思いやり、人情・心の豊かな社会	11.2%
第4位	広域交流の盛んな社会	8.8%	日本・世界のモデルとなる京都らしい社会	10.5%
第5位	個性と活力ある社会	8.8%	安心・安全な街づくり	9.8%
その他	マナーのよい社会、医療・福祉の充実、所得格差の是正	20.6%	世界に開かれた街、新しい魅力・産業の創造、自然・環境の保全、住みよい社会、若い力が活かせる社会	37.8%

<アンケート総数 約300>

### 3. 中期計画について



# (論点)中期計画のポイントについて

## (めざす社会 その①) 安心の社会

### 子育て・子育ての安心

- ◇ 孤立せず、楽しい子育てへの支援
- ◇ 子どもの権利確保と健やかな成長支援

### 医療・福祉の安心

- ◇ 医療・福祉のセーフティネットの確立
- ◇ 主体的な健康づくりの推進
- ◇ パンデミック対策の推進

### 学びの安心

- ◇ 子どもの学習意欲の向上
- ◇ 確かな基礎学力と生きる力を養う教育の推進
- ◇ 継続学習・生涯学習の推進

### 長寿の安心

- ◇ 在宅介護・療養環境の整備
- ◇ 第二の人生の生きがいづくり

### 働きの安心

- ◇ やりがいのある就業機会の確保
- ◇ 質の高い能力開発機会の確保
- ◇ ライフスタイルに応じた多様な働き方の推進

### 暮らしの安心

- ◇ 地域協働による防犯・防災活動の推進
- ◇ 危機管理システムの充実

# (論点)中期計画のポイントについて

## (めざす社会 その②) つながり、支え合う社会

### ユニバーサル社会

- ◇ 人権意識・ユニバーサル意識の醸成
- ◇ 障害者等の総合的な生活支援
- ◇ 誰もが孤立せず、生きがいを持って暮らせる環境づくり

### 男女協働社会

- ◇ 女性の社会進出機会の拡大のための環境改善

### 新たなコミュニティ社会

- ◇ 自由で開放的なつながりづくり支援

### 交流連帯社会

- ◇ 交流基盤の総合的整備
- ◇ 地域間連携の促進
- ◇ 世界に開かれた社会づくり

### 地域力協創社会

- ◇ 地域課題解決のためのプラットフォームづくり
- ◇ 住民協働による新しい公づくりの推進

### ふるさと定住社会

- ◇ 住みやすく、個性と魅力ある地域づくり
- ◇ 定住のためのハード・ソフトの基盤整備

# (論点)中期計画のポイントについて

## (めざす社会 その③) 元気のある社会

### 環境力

- ◇ 低炭素社会への総合的な対策
- ◇ 循環型社会の形成促進
- ◇ 生物多様性に関する取組の推進

### ブランド力

- ◇ 世界に通じる京都ブランドの形成
- ◇ 広域的な地域ブランドイメージの確立
- ◇ 新しい京都ブランド産業の創造

### 文化力

- ◇ 伝統文化の保存・継承
- ◇ 府民の文化活動の促進
- ◇ 生活の知恵の活用・創造

### 技術力

- ◇ オンリーワン技術・製品づくり支援
- ◇ 匠の技の継承と新しい産業への活用

### 人材力

- ◇ 世界を視野に入れた卓越した人材づくり
- ◇ 地域の課題解決に取り組むリーダーづくり

### 京都知力

- ◇ 世界の叡智の交流機会づくり
- ◇ 世界最先端の研究活動支援